

第73回北海道高等学校PTA連合会大会（北見大会）開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校PTA連合会
 2 共 催 一般社団法人 全国高等学校PTA連合会
 3 後 援 北海道教育委員会 北海道高等学校長協会 北見市 北見市教育委員会
 4 主 管 北海道高等学校PTA連合会 北見支部 主管校 北海道北見北斗高等学校
 5 日 時 令和6年6月8日（土）・9日（日）

日	内 容	時 間	会 場
8 日 (土)	道高P連総会	11:00～12:00	北見市民会館小ホール
	受 付	12:30～13:30	北見市民会館大ホール
	全体会	開会式・表彰式	(1000 人収容)
		講 演	
	懇 親 会	14:40～16:10	
		17:30～19:30	ホテル黒部
9 日 (日)	受 付	9:00 ～9:30	各分科会会場
	分 科 会	9:30～12:00	

6 会 場

- 8 日 (土) 総会・全体会会場 北見市民会館
 北見市常盤町2丁目1-10 TEL:0157-23-6266
 9 日 (日) 第1分科会会場 北見市芸術文化ホール (主担当：北見藤高等学校)
 北見市泉町1丁目17番地 TEL:0157-31-0909
 第2分科会会場 北見市端野町公民館 (主担当：北見商業高等学校)
 北見市端野町二区471番地11 TEL:0157-56-2515
 第3分科会会場 北見柏陽高等学校 (主担当：北見柏陽高等学校)
 北見市柏陽町567番地 TEL:0157-24-5107
 第4分科会会場 北見北斗高等学校 (主担当：北見北斗高等学校)
 北見市北斗町1丁目1 TEL:0157-24-3195

7 大会主題 「新時代をひらく若者を共に支えよう～本音の語らいから生まれるPTAの活力～」

8 大会メッセージ

「全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現と、持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成のため、学校や家庭、地域のつながりによるウェルビーイングの向上を目指して、初夏のオホーツクで語り合いましょう」

9 講 演 演題「北海道の若者が全国で活躍する未来への期待～地方出身を長所に！～」 講師 産婦人科専門医・タレント 丸田 佳奈 氏

10 分科会テーマと研究協議

各分科会においてテーマに係る講話等、小グループでの意見交流の後、全体共有やまとめ
 第1分科会：PTA活動「PTA活動と生徒指導・進路指導について」
 第2分科会：家庭教育「子どもの行動や気持ちを理解するためのコミュニケーションについて」
 第3分科会：生徒指導「インターネット・SNSの仕組み その現状・真相・課題について」
 第4分科会：地域連携「地域との連携による地域に根ざした特色ある学校づくりについて」

11 費 用 参加料 4,000円、 集録代 1,000円、 懇親会費 6,000円（ホテル黒部）

12 参加申込 参加申込・問合せ WEBにて申込 申込先 株式会社日本旅行北海道 営業企画部 連絡先011-208-0156 （営業時間平日 10:00 ～ 16:30 土日祝日は休業）email : hokkaido_pta2024@nta.co.jp

13 申込締切 令和6年5月1日（水）

14 事務局 北海道北見北斗高等学校内 第73回北海道高等学校PTA連合会大会（北見大会）事務局 〒090-0035 北見市北斗町1丁目1番地 電話0157-24-3195

※無料シャトルバスの運行(2日目)芸術文化ホール～北見柏陽高校～端野町公民館(往復2便)
 詳細については、WEBにてご確認下さい。

講演

演 題 北海道の若者が全国で活躍する未来への期待
～地方出身を長所に！～

講 師 産婦人科専門医・タレント
丸 田 佳 奈 氏



《略 歴》

1981年、北海道網走市生まれ。

北海道北見北斗高等学校、日本大学医学部医学科卒業。

2007年度「ミス日本」。2023年ベストマザー賞受賞。

総合周産期母子医療センター勤務の後、現在は診療所で、外来診療や分娩、手術を担当する。

現役医師の立場から、テレビやラジオ、雑誌等メディアを通じ、さまざまな医療情報を発信。

出演番組は、C S C（T B S系列）「ゴゴスマ」、読売テレビ（日本テレビ系列）「そこまで言って委員会NP」、フジテレビ「とくダネ！」など。

「少子高齢化問題」や「女性の健康」、「女性活躍」などをテーマとした講演活動も行っている。

第 7 3 回北海道高等学校 P T A 連合会大会（北見大会）
分科会のご案内

第 1 分科会（P T A 活動）

○ テーマ 「P T A 活動と生徒指導・進路指導について」

○ テーマ設定趣旨

学校教育の充実を図るキーワードのひとつに「チームとしての学校」がある。今後の P T A 活動においては、地域人材、専門家など多様な経験や専門性を持つ方々が学校をチームとして支えるしくみを整えるとともに、生徒の学びと成長を支える新たな P T A 活動を創出・展開することがますます重要になる。

本分科会では、始めに P T A 活動が教育活動、特に生徒指導・進路指導に生かされた例を含む特色ある取組についての情報提供を行い、続いて、各校の特色ある取組や生徒指導や進路指導を支える取組のアイデアについて、分科会参加者の小グループでの話し合いを通じて、相互理解を深めるとともに、アフターコロナに期待される新たな P T A 活動創出の契機とすることを目的とする。

○ファシリテーター	北見藤高等学校長	堀 俊 一 氏
○情報提供者	北海道置戸高等学校 教頭	後 藤 幸 洋 氏

第 2 分科会（家庭教育）

○ テーマ 「子どもの行動や気持ちを理解するためのコミュニケーションについて」

○ テーマ設定趣旨

子どもたちが自身の可能性を最大限伸ばすためには、子どもたちの心理的安全を確保し、自己肯定感を高めていくことが重要である。その支援のため大人の側は、子どもがどういう気持ちで行動しているのかを理解し、言語では表現しきれない気持ちをくみ取る力を身につけていることが望ましい。そこで、非言語コミュニケーションという視点から子どもたちの言動を考えることで今後のコミュニケーションの一助にしていきたい。

本分科会では、始めに、子どもの行動や気持ちを非言語コミュニケーションの視点から考えていくための情報提供を行い、続いて、子どもが自分自身を表現し、自己肯定感を高め、可能性を伸ばすためのコミュニケーションのあり方について、分科会参加者が小グループでの話し合いを通じて、相互理解を深めるとともに、今後の子どもたちとのコミュニケーションのあり方について考える契機とすることを目的とする。

○ファシリテーター	前北見商業高等学校 P T A 会長	服 部 毅 氏
○情報提供者	北海道公立学校スクールカウンセラー	武 智 智 子 氏

第3分科会（生徒指導）

○ テーマ 「インターネット・SNSの仕組み その現状・真相・課題について」

○ テーマ設定趣旨

インターネットの普及、スマートフォンの急速な発展は社会に多くの恩恵を与えている一方で、使い手側の生徒、保護者へのITモラル教育や学校の指導が追いついていない現状がある。これらのツールの利用にともなうトラブル発生の実態とトラブル回避に向けての対応について、生徒たちだけでなく、大人も早急に学ぶ必要がある。

本分科会では、始めに、生徒たちをネット犯罪の被害者や犯罪者にさせないために、その現状及び課題についての情報提供を行い、続いて、各家庭におけるインターネットやスマートフォン利用に関わる子ども達への声かけの在り方や家庭でのルール作り等について、分科会参加者の小グループでの話し合いを通じて、相互理解を深めるとともに、今後のネット社会に生きる生徒達への家庭と学校で連携の取れた指導の在り方について考える契機とすることを目的とする。

○ファシリテーター 北海道常呂高等学校長 森 山 忍 氏

○情報提供者 有限会社イワイ 代表取締役 岩 井 孝 浩 氏

第4分科会（地域連携）

○テーマ 「地域との連携による地域に根ざした特色ある学校づくりについて」

○テーマ設定趣旨

学校が期待される社会的機能を果たし、国際社会や地域社会を生きる子どもたちに学び多き有意義な高校生活を過ごさせるためには、学校、家庭（PTA）、地域が協働して特色ある高校づくりに取り組むことが重要である。道内外の各高校においては、これまでも地域人材の活用や、地域課題をテーマとした学習活動が実施され、コミュニティ・スクールなどの実践も広がってきている。

本分科会では、学校と地域の緊密な連携のもと、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる実践例を情報提供することで、学校、家庭、地域の協働の視点の大切さを確認した上で、保護者そして地域に生きる大人として、自分を取り巻く地域における自己の関わりを振り返るとともに、分科会参加者が小グループでの話し合いを通して、今後のPTA活動への展望を考えることを目的とする。

○ファシリテーター 小樽商科大学 グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門
学術研究員 大 湊 亮 介 氏

○情報提供者 北海道湧別高等学校地域コーディネーター 田 中 那 苗 氏
(地域おこし協力隊)